ぎょうだ 歴史系譜 187

行田の近代化遺産 20

旧荒井八郎商店事務所兼住宅・大広間棟・洋館

今回紹介する建物は、平成19年12月5日に国の登録有形文化財に登録された旧荒井八郎商店事務所兼住宅・大広間棟・洋館です。

荒井八郎商店の創業者荒井八郎は、明治18年（1885）に佐間の旧家に生まれ、東京での足袋見習い修行を経て大正6年（1917）に行田で足袋製造業を始めました。「穂国足袋」の商標を掲げ、強気の商売で成功を収めた八郎は、大正14年（1925）に現在の場所（佐間1―11―22ほか）に広大な土地を取得しました。そして敷地内に工場を建設するとともに、モダンな緑色の洋平瓦が特徴的なスクラッチタイル貼りの外壁を持つ2階建ての事務所兼住宅をまず建設したようです。次いでこの洋館西側に平屋の和室大広間（大広間棟）を増築、最後に北西側に3階建ての離れ（洋館）を建設したと思われます。これら建物の正確な建築年代は不明ですが、事務所兼住宅が昭和元年（1926）、大広間棟が昭和7年（1932）、洋館が昭和10年（1935）の建設と推測されています。

八郎は大正14年に足袋業界で起こった「丸止縫新案権侵害訴訟事件」で問題解決に尽力し、昭和15年（1940）には行田足袋被服工業組合の理事長に就任。全日本足袋工業組合連合会理事なども務めて、戦時統制時代には粘り強く軍部と交渉して足袋業界を守りました。一方、昭和4年（1929）に忍町町議会議員に当選して以降は政界でも活躍。昭和11年（1936）には県議会議員となり、産業道路の新設などに尽力しました。さらに昭和22年（1947）には参議院議員に当選、忍商工会議所会頭にも就任しました。

今回紹介した3棟は、政財界で活躍した八郎の迎賓館的な役割を果たしていた建物で、昭和天皇をはじめとする多くの人々が訪れて、かつては「足袋御殿」とも呼ばれていました。現在は所有者が代わり、和牛懐石「彩々亭」の店舗として美しい庭園とともに再活用されているこの建物は、戦前の行田を代表する歴史的建築物であるといえます。※10月20日開催の「足袋蔵めぐり2009」で見学予定です。詳細は15ページを参照ください。

（文化財保護課　中島洋一）

旧荒井八郎商店事務所兼住宅・大広間棟・洋館

★キラリ元気★ No.79

…野菜たっぷり…

揚げなすのサッパリ和え

なすは日本で古くから栽培されているなじみの深い野菜で、淡白な味のためどのような料理にも向いています。皮には抗がん作用や動脈硬化の予防、老化防止効果のあるポリフェノールが多く含まれています。この料理は、しょうがと酢の効用で食欲をそそられるので、カラフルな野菜をたっぷりと食べられます。

材料（2人分）
なす…2本　オクラ…2本　パプリカ…1個　ミニトマト…2個
揚げ油…適量　　しょう油だれ【しょう油…大さじ1.5　酢…大さじ1
砂糖…大さじ1　水…少々】　しょうがの搾り汁…小さじ1

作り方
①野菜は洗ってヘタを落とし、なすとパプリカは大きめな乱切りにしておく。
②しょう油だれを弱火にかけ、砂糖を溶かす。その後冷ましてしょうがの搾り汁を加える。
③①を中温の油で揚げ、しょう油だれに浸す。

栄養成分（1人分）
エネルギー318kcal　たんぱく質12.2g　脂質25.2g
炭水化物45.2g　食塩相当量2.6g　カロテン568μg

（社）埼玉県栄養士会　行田・羽生の会

今月の表紙

市制施行60周年を記念して9月13日に開催された「第18回彩の国埼玉 梓（あずさ）の祭典」。地元行田市からは武蔵あばれ太鼓が出演し、迫力あふれる演奏を披露しました。（関連記事25ページ）

■市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。
■市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
■市報をカセットテープに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキ
市報ぎょうだは再生紙を使用しています

■編集・発行／行田市総合政策部広報広聴課
〒361―8601 行田市本丸2番5号　TEL 556―1111　FAX 550―2116
ホームページ http://www.city.gyoda.lg.jp　携帯サイト http://www.city.gyoda.lg.jp/mobile/index.html